

全国高等学校PTA連合会大会「北海道大会」報告

期 日：平成23年8月25日（木）、26日（金）

会 場：北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

全国高等学校PTA連合会大会「北海道大会」に本校から太田PTA会長、熊谷PTA副会長、根崎校長先生、渉外部の菊池の4名が参加しました。

開会式に先立ち、高校生によるアトラクションでは札幌白石高校吹奏楽部による演奏。

各年代になじみの深い曲をメドレーで演奏し、会場を和ませてくれました。

ファンファーレの後、全体会・開会行事が行われ、大会宣言、来賓の祝辞、表彰式と続きました。

引き続き、「生きる力をつける処方箋」と題し、精神科医としてはもちろんのこと、各メディアでも活躍されている香山リカ氏の基調講演が行われました。

大人が失敗や挫折などマイナスの部分も含めて「自分らしさ」として受け止め、心にゆとりを持って子どもと接してほしいと話されました。

午後からは7つの分野に分かれての分科会。

本校は、「学校教育とPTA ～いのちを育む教育～」に参加し、各学校の事例発表を聴きました。どの学校も学校・PTA・地域が一体となり子供と関わっていることがとても伝わってきました。



大会 2 日目。

高校生による素晴らしいアトラクションが行われました。

- ・蝦夷太鼓の演奏には会場からアンコールの合唱，そして，その声援に応じてくれた高校生。
- ・いきものがかりの「心の花を咲かせよう」の歌詞を全員で書き上げる書道パフォーマンス。
- ・姉妹で素晴らしい音色を奏でた江差追分。



続いて、「命をつなぐ!!」と題し，前旭山動物園園長の小菅正夫先生による記念講演が行われました。

アザラシの出産シーンをはじめオオカミやオラウータンの子育てなど，飼育中の動物のビデオなどを見せて頂きました。動物の出産や子育てのシーンなどほとんど見ることはありませんからとても興味深く，真剣に見入ってしまいました。

動物の世界での親子関係についても小菅先生の楽しいトークで知ることができました。

母乳は心の絆，授乳は心をつなぐ役割，母乳育児は哺乳類の原点，子の本能は母乳にたどり着く。アザラシの親子関係は 20 日間程度。

ヒグマは一人ぼっちが好き。心の問題だが，その心を大切に育てあげるなど…動物の世界が少しだけ知ることができました。

これから動物園でただ動物を見るだけでなく，また違った視点で動物を見ることができると思います。

この 2 日間，北の大地で素晴らしい講演を聞き，素晴らしい北海道の伝統芸能や高校生の発表に触れることができました。

今回の大会で得たものを今後の本校 P T A 活動に活かしていきたいと思ひます。